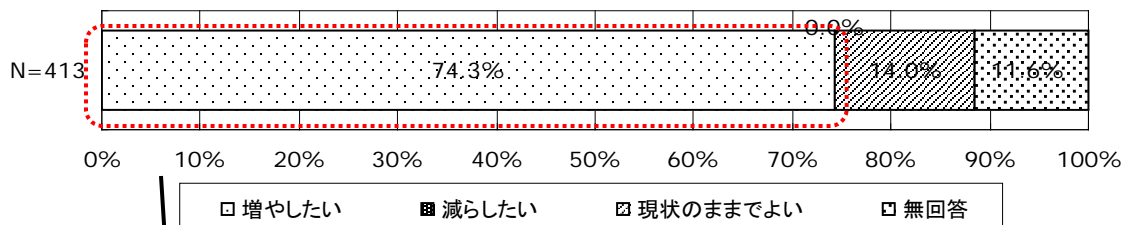


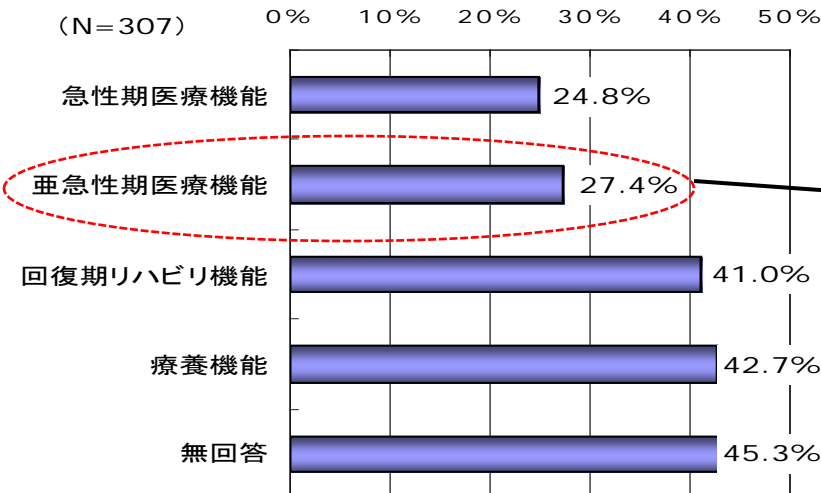
検証部会調査(7対1入院基本料)

7対1入院基本料を算定している医療機関において、27.4%の医療機関が連携先として亜急性期医療機能を増やしたいと回答した。亜急性期医療機能を担う医療機関について、地域に十分でないという回答が69.0%であった。

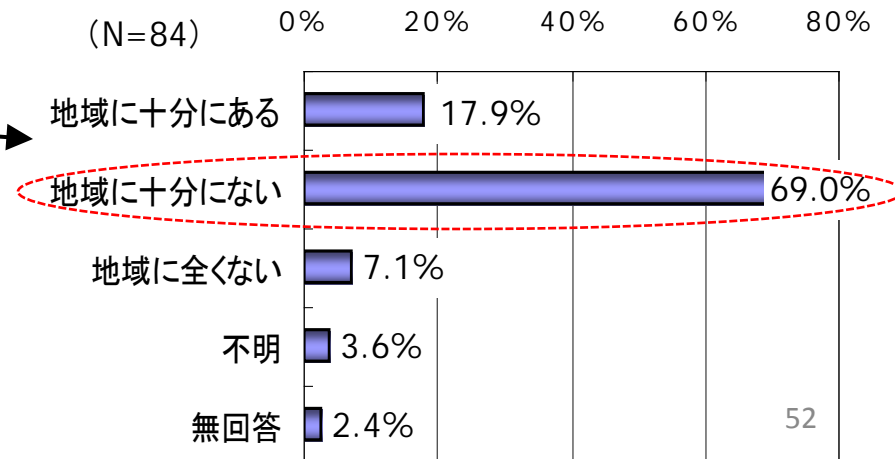
・連携する医療機関数に対する意向



・増やしたい医療機能[複数回答]



【亜急性期医療機能】

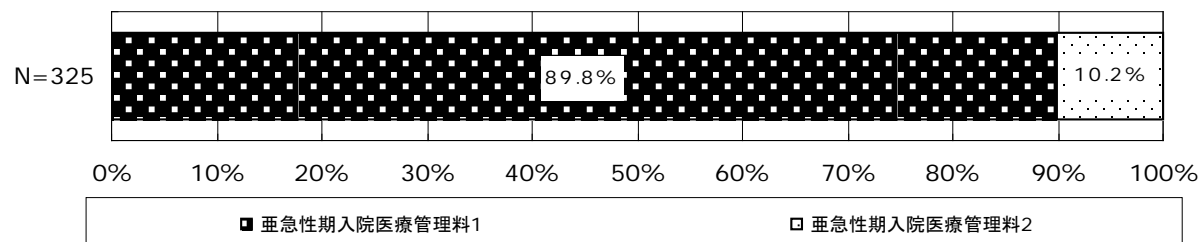


検証部会調査(亜急性期入院医療管理料)

回収率等

	発 送 数	有効回収数	回 収 率
施設調査票	896件	325件	36.3%
病棟調査		395件	
(入院中)患者調査票		2,966件	
(退室)患者調査票		2,883件	

回答医療機関の内訳



1施設当たり届出病床数の病床種別構成

亜急性期入院医療管理料1

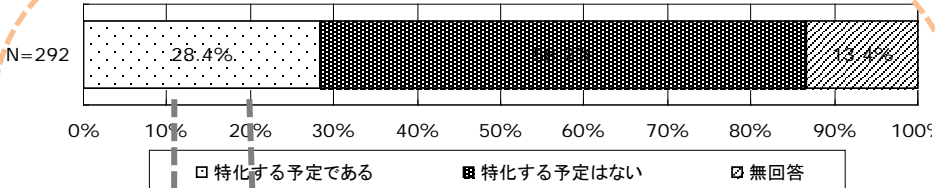
亜急性期入院医療管理料2

病 床 種 別	1施設当 り病床数	割 合	病 床 種 別	1施設当 り病床数	割 合
一般病床	191.4床	82.4%	一般病床	101.9床	73.6%
一般病棟入院基本料のみ算定している病床	150.3床	64.7%	一般病棟入院基本料のみ算定している病床	63.2床	45.7%
亜急性期入院医療管理料	11.2床	4.8%	亜急性期入院医療管理料	16.7床	12.1%
療養病床(医療保険適用)	19.1床	8.2%	療養病床(医療保険適用)	24.5床	17.7%
療養病床(介護保険適用)	5.0床	2.2%	療養病床(介護保険適用)	5.0床	3.6%
精神病床	8.8床	3.8%	精神病床	4.5床	3.3%
その他(感染病床・結核病床等)	7.9床	3.4%	その他(感染病床・結核病床等)	2.4床	1.7%
合 計	232.3床	100.0%	合 計	138.3床	100.0%

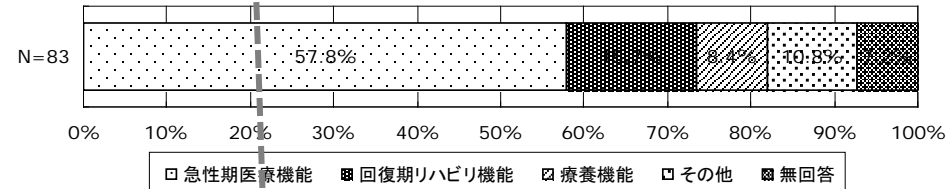
検証部会調査(亜急性期入院医療管理料)

亜急性期入院医療管理料を算定する医療機関に医療機能に係る今後の方針を尋ねたところ、急性期への特化を望む医療機関が多く見られた。また、亜急性期を拡充する予定の医療機関が約35%であった。

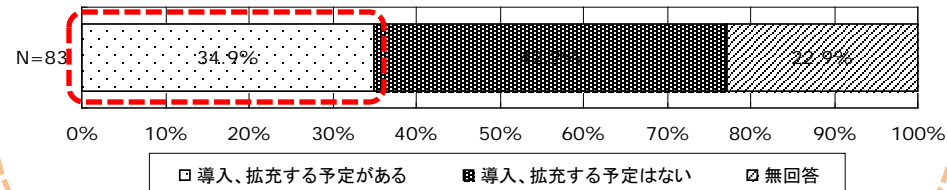
医療機能に係る今後の方針



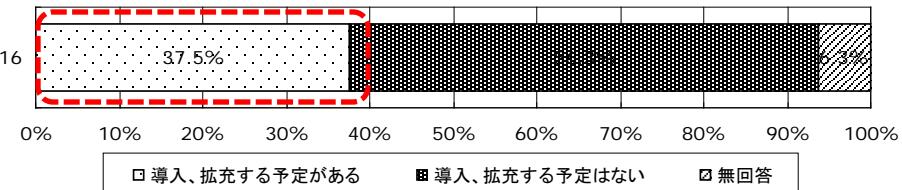
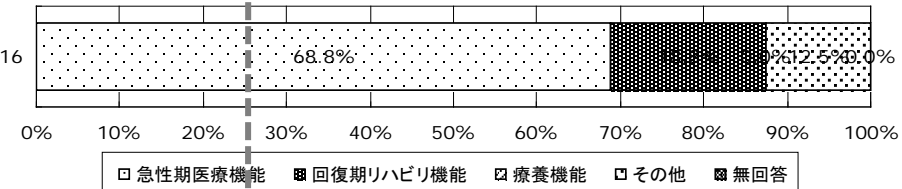
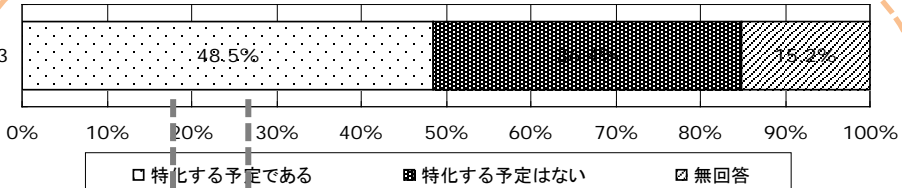
特化する予定の医療機能



今後、亜急性期医療機能を導入、拡充する予定の有無



亜急性期1

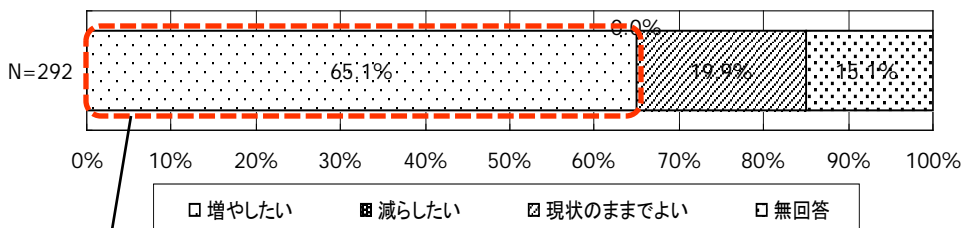


亜急性期2

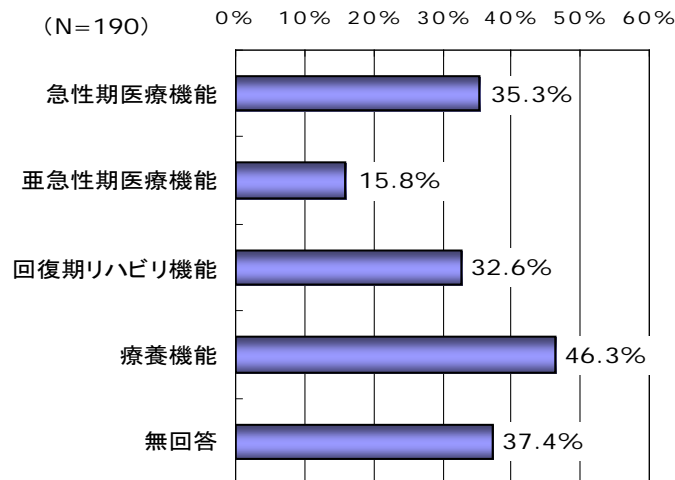
検証部会調査(亜急性期入院医療管理料)

亜急性期入院医療管理料算定医療機関に連携の意向を尋ねたところ、65%以上の医療機関が連携先を増やしたいと回答した。連携先としては、紹介元である急性期医療機能以上に、療養機能との回答が多く見られた。

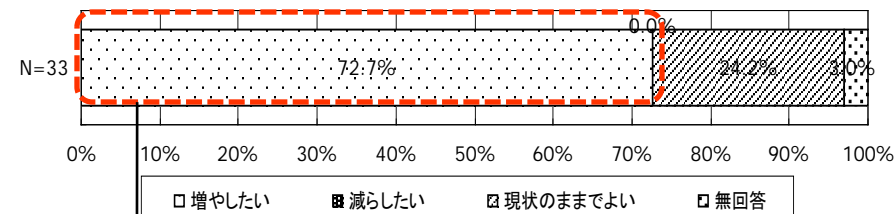
○ 連携する医療機関数に対する意向
・亜急性期入院医療管理料1(図表3-22)



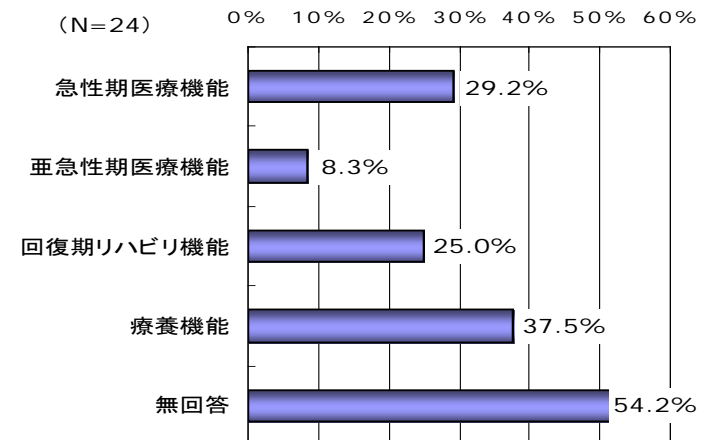
○ 連携先として増やしたい医療機能[複数回答]
・亜急性期入院医療管理料1(図表3-24)



○ 連携する医療機関数に対する意向
・亜急性期入院医療管理料2(図表3-23)



○ 連携先として増やしたい医療機能[複数回答]
・亜急性期入院医療管理料2(図表3-25)



出典:平成21年度検証部会調査

平均在院日数

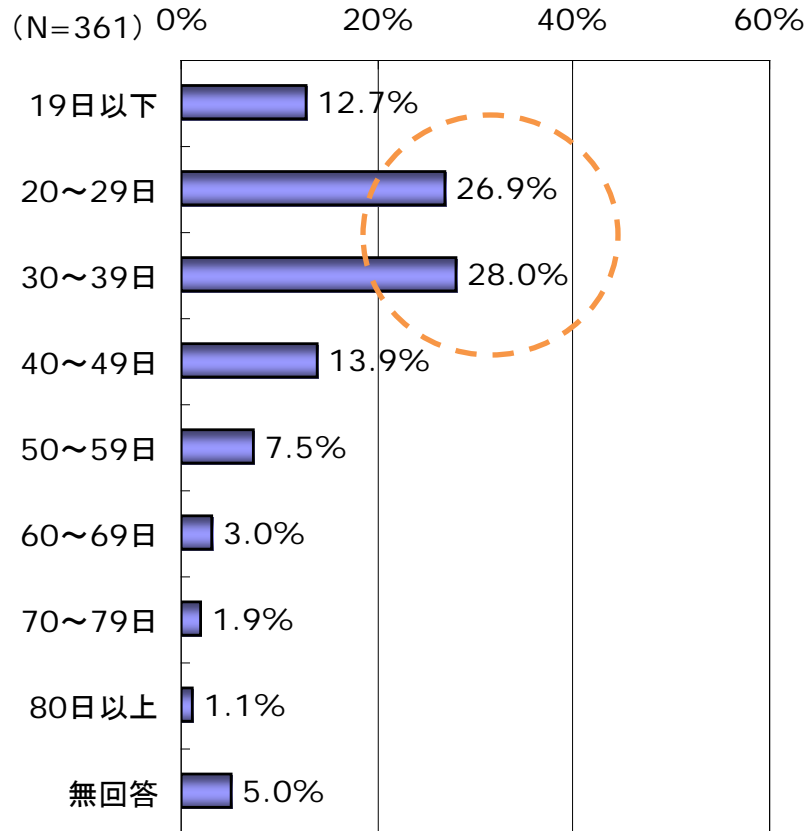
平均在院日数は、亜急性期入院医療管理料1で34.5日、亜急性期入院医療管理料2で27.5日で、19日以下の群も見られる。

○ 平均在院日数

・亜急性期入院医療管理料1 (図表3-41)

... [H21.4~6月] 平均34.5日

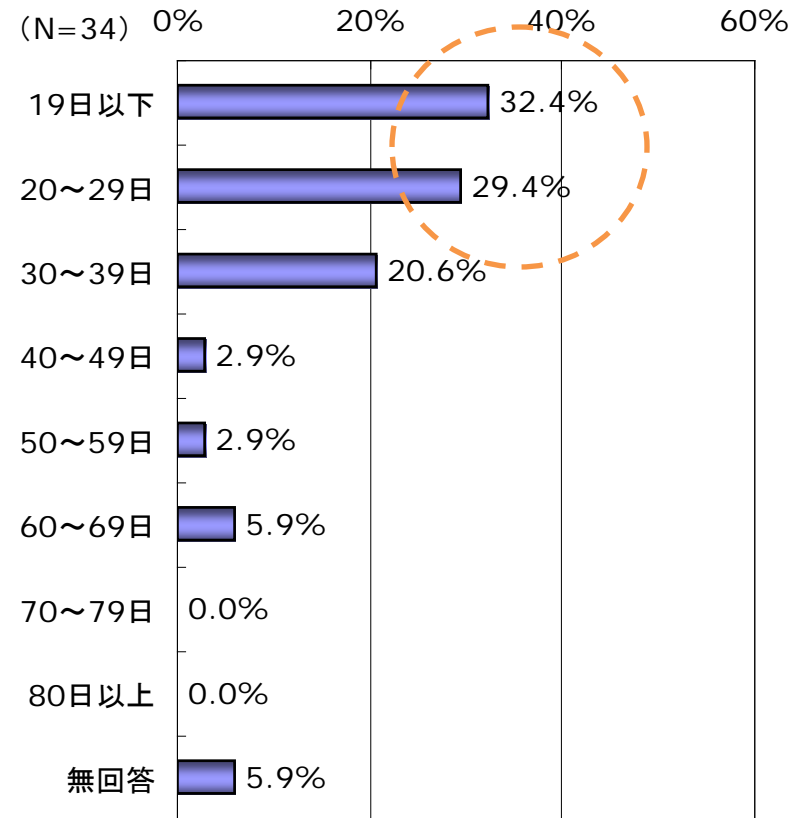
※有効回答343病棟で集計



・亜急性期入院医療管理料2 (図表3-42)

... [H21.4~6月] 平均27.5日

※有効回答32病棟で集計



入室前の居場所

亜急性期入院医療管理料を算定する病室へは、自院の他の病床からの入室が大半を占める。特に、亜急性期入院医療管理料2は7対1等の急性期病床からの入室が86.2%と多い。在宅からの受け入れは、亜急性期入院医療管理料1で2.6%程度である。

○ 在室患者の入室前の居場所
・亜急性期入院医療管理料1(図表3-51)

入棟前の居場所		人数	割合
自院	自院の7対1入院基本料等を算定している病床	11.04人	66.1%
	自院のその他の病床	5.05人	30.3%
他院	他病院の7対1入院基本料等を算定している病床	0.09人	0.5%
	他病院のその他の病床	0.02人	0.1%
	有床診療所	0.00人	0.0%
その他	介護老人保健施設・介護老人福祉施設	0.03人	0.2%
	その他居住系サービス等の施設	0.00人	0.0%
	在宅	0.44人	2.6%
	その他	0.04人	0.2%
合計		16.71人	100.0%

○ 在室患者の入室前の居場所
・亜急性期入院医療管理料2(図表3-52)

入棟前の居場所		人数	割合
自院	自院の7対1入院基本料等を算定している病床	12.52人	86.2%
	自院のその他の病床	1.55人	10.7%
他院	他病院の7対1入院基本料等を算定している病床	0.13人	0.9%
	他病院のその他の病床	0.06人	0.4%
	有床診療所	0.00人	0.0%
その他	介護老人保健施設・介護老人福祉施設	0.13人	0.9%
	その他居住系サービス等の施設	0.00人	0.0%
	在宅	0.13人	0.9%
	その他	0.00人	0.0%
合計		14.52人	100.0%

在室患者の退室先

退院先は、75%程度が在宅となっている。また、介護老人保健施設、介護老人福祉施設への退院も10%程度見られている。

○ 在室患者の退室先

・亜急性期入院医療管理料1(図表3-57)

退室先		人数	割合
自院	自院の回復期リハ病棟	0.01人	0.1%
	自院の回復期リハ病棟以外の一般病棟	0.27人	3.9%
	自院の回復期リハ病棟以外の療養病棟	0.03人	0.4%
	自院のその他の病棟	0.04人	0.6%
他院	他病院	0.37人	5.3%
	有床診療所	0.03人	0.4%
その他	介護老人保健施設・介護老人福祉施設	0.77人	10.9%
	その他居住系サービス等の施設	0.19人	2.6%
	在宅	5.24人	74.2%
	その他	0.11人	1.6%
合計		7.06人	100.0%

○ 在室患者の入室前の居場所

・亜急性期入院医療管理料2(図表3-58)

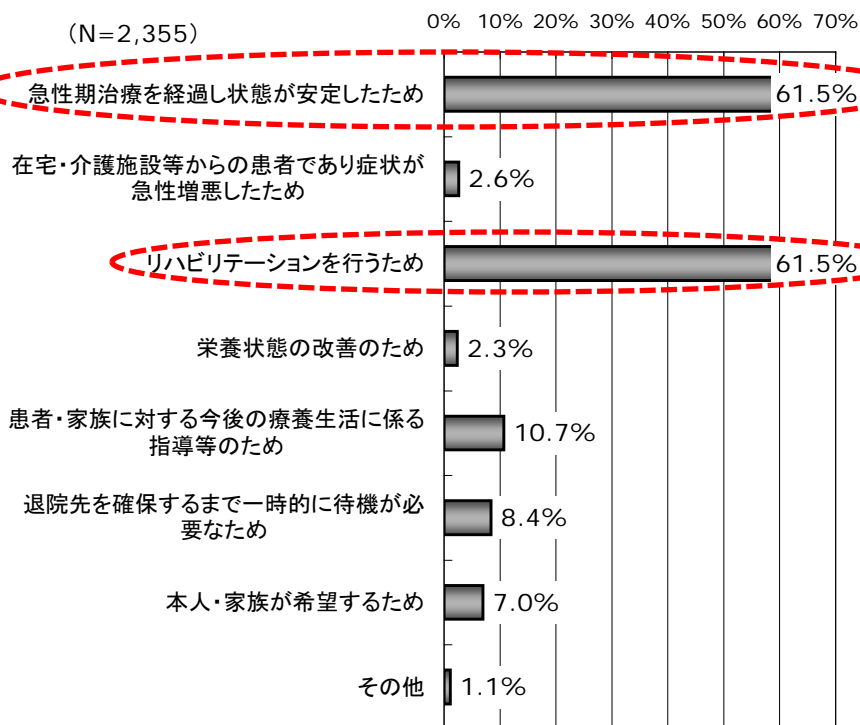
退室先		人数	割合
自院	自院の回復期リハ病棟	0.03人	0.2%
	自院の回復期リハ病棟以外の一般病棟	0.72人	4.6%
	自院の回復期リハ病棟以外の療養病棟	0.10人	0.7%
	自院のその他の病棟	0.00人	0.0%
他院	他病院	1.52人	9.7%
	有床診療所	0.00人	0.0%
その他	介護老人保健施設・介護老人福祉施設	1.24人	8.0%
	その他居住系サービス等の施設	0.07人	0.4%
	在宅	11.86人	76.1%
	その他	0.03人	0.2%
合計		15.59人	100.0%

検証部会調査(亜急性期入院医療管理料)

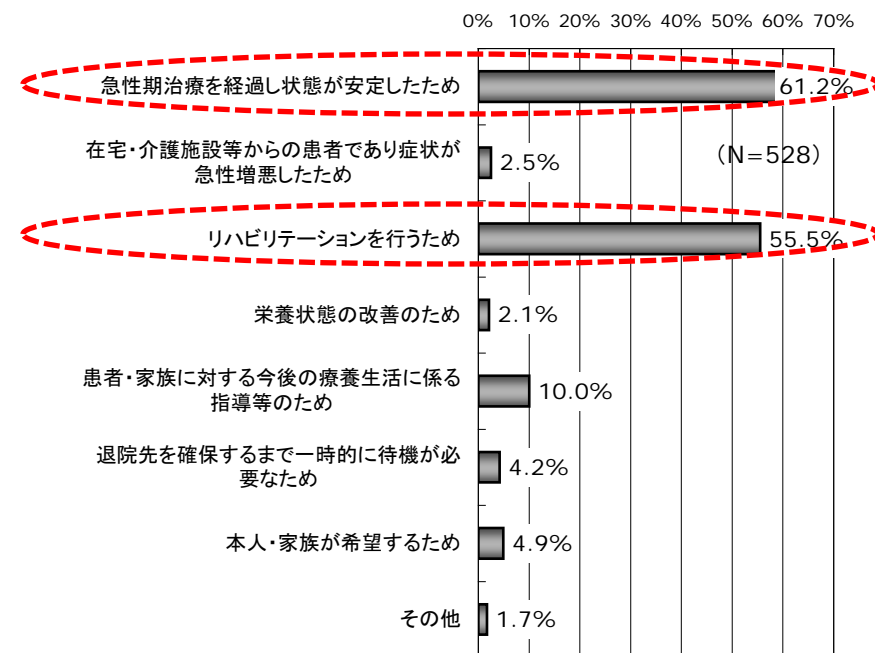
亜急性期入院医療管理料を算定する病室に入室した背景としては、「急性期治療を経過し状態が安定したため」、「リハビリテーションを行うため」が多い。

○ 入室した背景(図表3-83)

[亜急性期入院医療管理料1]



[亜急性期入院医療管理料2]



出典:平成21年度検証部会調査